

## 令和4年度（上鶴間高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	法令遵守の意識を向上させ、公務外の非行を防止する。 また、新規採用職員及び臨時的任用職員・会計年度任用職員への指導を徹底する。	① 4月に映像資料「不祥事を自分事として考える」を初任者、会計年度任用職員が視聴し、討議を行った。 ② 5月に不祥事防止リーフレット活用し、常勤・臨任・非常勤職員と管理職による個別面談を実施した。 ③ 8月・12月の不祥事防止研修会で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、公務員としてあってはならないこと、自家用車への生徒の同乗要件を確認した。 ④ 2月の不祥事防止研修会で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用しコンプライアンス意識の醸成を図るとともに、倫理指針について教職員の理解を深めた。 ○目標は達成された。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員同士が互いにしつかりとコミュニケーションをとり、円滑な人間関係を築き、良好な職場環境をつくる。	① 1月の不祥事防止研修会で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、ハラスメントのない良好な職場環境を作ることの重要性を確認した。 ② 職員がその能力を十分に発揮し、いきいきと働けるハラスメントのない職場づくりを推進した。 ○目標は達成された。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを遵守し、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為はゼロを目標とする。	① 5月に全教職員で、映像資料を校内研修で視聴し、意見を出し合い共有し、わいせつ事案の根絶に取り組んだ。 ② 6月の不祥事防止研修会で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、具体的な被害状況等を確認・共有した。 ③ 10月の職員会議で、管理職より、改めて生徒とのSNSの利用を行わないことを周知した。 ④ 2月に児童生徒性暴力等の防止等に関する理解を深めるための動画を活用した研修、及び相談・指導等における留意事項に係る研修を実施した。 ○目標は概ね達成されているが、職員と生徒とのSNSの利用が1件判明した。改善・徹底する必要がある。
体罰、不適切な指導の防止	生徒に対する体罰及び暴言・威迫・無視等の不適切な行為は決して許されない行為であり、生徒指導や部活動において、体罰等を認めない学校風土づくりに努める。	① 8月の不祥事防止研修会で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、教職員一人ひとりが、互いに支えあって指導・支援に当たることが重要であることを確認した。 ② 2月の職員打合せで、相手の立場に立った言動を心がけ、生徒理解に基づく体罰・不適切な言動によらない指導を徹底することを確認した。 ③ 2月の職員会議で、校長が部活動指導の体罰及び不適切な指導の根絶に向けた取組の周知を行い徹底を図った。 ○目標は概ね達成されているが、不適切な生徒への言動が1件判明した。改善・徹底する必要がある。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づき、点検を確実にを行い、入学者選抜、成績処理及び進路に係る事故を防止する。	① 6月の不祥事防止研修会で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、マニュアル等を厳守した適切な事務処理、職員同士の相互チェック機能の強化に取り組んだ。 ② 調査書等の進路関係書類の作成を計画的に行い、速やかに発行する体制をつくとともに、2人以上複数回の点検を行い事故防止に努めた。 ③ 1月の不祥事防止研修会で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、入学者選抜について、全ての教職員が責任感を持って業務に当たることの必要性を確認した。 ○目標は達成された。

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の適正管理により、流失事故・誤廃棄を未然に防止する。	<p>①10月の事故防止会議で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、答案用紙の紛失防止、ブログへの不適切な投稿防止など、身近なところから、日常の点検を行い、職員が整理整頓の3か条を作成し、周知・共有した。</p> <p>②日常的に様々な形態で個人情報を扱っていることを改めて教職員に意識させ、ルールの確認、個人情報の紛失・誤廃棄、誤配付・誤送信などの未然防止に努めた。</p> <p>○目標は達成された。</p>
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルール・マナーを遵守し、違反者を出さない。	<p>①11月の事故防止会議で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、酒酔い・酒気帯び運転は絶対にしないこと、酒酔い運転の車に乗車しないことを確認徹底した。</p> <p>②運転に際しては時間と気持ちに余裕を持つことを周知徹底した。</p> <p>○目標は達成された。</p>
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務執行上の事故を未然に防止する。	<p>①3月の事故防止会議で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、業務の生産性の向上を目指し、風通しの良い職場づくりについて確認し、協力を求めた。</p> <p>②管理職が、グループリーダー、学年リーダー、職員との個別面談等を通じて、情報共有、相互チェック体制、業務協力体制の状況を把握し、指導・助言を行った。</p> <p>○目標は達成された。</p>
財務事務等の適正執行	私費・県費の会計処理をルールに則り適正に執行する。	<p>①7月及び11月の事故防止会議で、不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、「神奈川県財務規則」「私費会計基準」に則った適正な会計処理を周知徹底した。</p> <p>②10月の職員会議で、9月実施の財務事務調査指導の結果について周知し、会計処理の適切な執行に向け、改善すべき点を全職員で共有した。</p> <p>③2月の会計担当者対象不祥事防止研修会で、決算・予算及びこれまでの確認事項について再確認した。</p> <p>○目標は概ね達成されているが、予備費に対する記載で改善を要する事項があった。</p>

○令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題（学校長意見）

- (1) 「法令遵守の徹底」「服務規律の徹底」「信用・信頼のある教育の実践」に取り組み、生徒一人ひとりの健全な育成に向けて職員一同全力を尽くす。
- (2) 不祥事防止研修会や事故防止会議をタイムリーに実施し、教職員としての資質向上を図る。
- (3) 職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを遵守し、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を防止する。
- (4) 生徒の人権を尊重し、相手の立場に立った言動を心がけ、生徒理解に基づく指導を徹底することにより、体罰や不適切指導を未然に防止する。
- (5) 私費・県費の会計処理を計画的に行い、「私費会計基準」に則った適正な会計処理を徹底する。
- (6) 事故、不祥事に繋がる課題を早期発見し対応するために、風通しの良い職場づくりを目指し、県民から信頼される教育の実践に向けて全力で取り組む。